

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(主)長野信州新線		
事業毎の通番		4	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	今泉(いまいずみ)	
事業目的	(主)長野信州新線は、長野市南部の市街地と長野市信州新町を結ぶ幹線道路である。当該箇所は幅員が5m以下で狭小な区間が連続し、かつ曲線区間において家屋が連立しており、視距の確保も困難でありすれ違い等において交通の支障となっている。特に大型車や定期バスのすれ違いには困難な状況にある。当該区間を改良することにより、地域における安全確保を図りたい。						
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	-						
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:2,309台/日(H42推計)						
着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.8	国庫	其他	県債	
全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=420m W=5.5(7.0)m			140,000		126,000	
年度事業内容(主な工種)	現地測量 一式			5,000		4,500	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間の減少					
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間(信更地区、信州新町、篠ノ井地区、大岡地区)交流の促進					
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : 主要な代替道路がない ○交通結節点7ヶ所 : JR篠ノ井線篠ノ井駅、長野道更埴IC ○生活支援・観光振興 : 久米路峡観光振興				評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : なし ○緊急輸送路の路線指定 : なし ○地域指定 : なし				評価	C
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.8 ○事業期間 : 5年(H27~H31) ○工法等の比較検討 : 線形決定にあたり経済比較検討の上、設計予定 ○他事業との連携 : なし				評価	C
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H14:1件、H16:1件、H18:1件 ○渋滞及び騒音・振動の緩和 : 沿線住宅における震動の緩和 ○歩道整備 : なし ○現況の幅員、半径、勾配 : 現況幅員3.5~4.8m、曲線半径20~25m幅振なし、縦断勾配4~9%				評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 期成同盟会及び地区役員を通じ区民に広く周知 ○地域の取り組み : 協力的である。(長野市信更支所、地区区長役員) ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 今後住民の関与が見込まれる。				評価	A
	部意見	事業の必要性、計画熟度が高いため、平成27年度から事業化したい。	行政改革課意見	必要性が認められる。		評価結果	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(主)長野信州新線は、長野市信更地区はもとより、信州新町地区や信更地区からJR篠ノ井線篠ノ井駅、長野道更埴ICを結ぶ骨格路線であり、当地区における最重要路線となっている。しかしながら、幅員狭小かつ曲線部が連続していることから、大型車のすれ違いや冬期における交通の障害が発生しており、改良事業に伴う交通アクセスの時間短縮、安全確保が強く求められている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成22年度より要望があり、以降「信更・大岡・新町間整備促進期成同盟会」及び「信更地区道路改良整備及び砂防促進期成同盟会」より要望活動がある。
③事業説明等の経緯	平成26年6月3日地元要望あり、地区区長及び役員に対し事業化の必要性があることは認識しており前向きに検討していく旨説明。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	設計時において、法面工、土留工を自然環境に配慮した工法で選定する予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	新町病院へのアクセス向上。路線バスにおける定期運行性の確保。名勝「久米路峡」への観光ルート
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度  
北緯:N 36° 34' 1"  
東経:E 138° 2' 43"